

1. Protocol

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Stop Bit	1/2
Data Bit	8/7
Parity	Even/Odd/None
Data Rate	4,800/9,600/19,200/38,400 bit per second
Code	ASCII
Terminate	CR LF

2. Write command

2-1. Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「EO+CR,LF」	Framing error
「E1+CR,LF」	Parity error
「E2+CR,LF」	Overrun error
「E3+CR,LF」	Command error

2-2. Command

2-2-1. アラーム関連

2-2-1-1. 「ABOOF+CR,LF」 (Alarm Buzzer Off)

アラーム状態の時に、ブザー音設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-2. 「ABOON+CR,LF」 (Alarm Buzzer On)

アラーム状態の時に、ブザー音設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-3. 「ACC+CR,LF」 (Alarm Compulsion Cancel)

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラームを強制解除します。

2-2-1-4. 「ADOF+CR,LF」 (Alarm Display Off)

アラーム状態の時に、「ALARM」という文字表示設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-5. 「ADON+CR,LF」 (Alarm Display On)

アラーム状態の時に、「ALARM」という文字表示設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-6. 「ADTnn+CR,LF」 (Alarm Duration Time nn)

アラームの保持時間を設定します。

nnは、秒数で設定範囲は【01】～【99】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-7. 「AELE+CR.LF」 (Alarm Event List Erase)

アラームのイベント・リストを消去します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-8. 「A I N n n I m m+CR,LF」 (Alarm Input Number nn Input ch. mm)

アラームの入力端子台番号に入力チャンネル番号を設定します。

nnは、端子台番号で設定範囲は【01】～【24】です。

mmは、入力チャンネル番号で設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-9. 「A I Nmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm+CR,LF」

(Alarm Input Number 1~24 Input ch. mm)

アラームの入力端子台番号を入力チャンネル番号を設定します。

端子台番号 1~24 を連続で設定します。

mmは、入力チャンネル番号で設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-10. 「A I P B+CR,LF」 (Alarm Input Polarity Break)

アラームの入力極性設定を【BREAK】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-11. 「A I PM+CR.LF」 (Alarm Input Polarity Make)

アラームの入力極性設定を【MAKE】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-12. 「AOM_n nNF F+CR,LF」 (Alarm Output Monitor nn Alarm monitor 1~4 OFF/ON)

アラームの信号出力端子台番号に入力チャンネル番号を設定します。

nnは、入力チャンネル番号で設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

NFF は、信号出力で端子台 1～3 を連続で設定します。

Nは【ON】，Fは【OFF】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-13. 「AOMn f f f n f f f n f f f. . . . +CR.LF」

(Alarm Output Monitor nn Alarm monitor 1~4 OFF/ON)

アラームの信号出力端子台番号に入力チャンネル番号を設定します。

入力チャンネル 1~32 (64) 連続で設定します。

nff は、映像出力チャンネルで 1~4 を連続で設定します。

nは【ON】，fは【OFF】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-14. 「AOSnnNFF+CR,LF」 (Alarm Output Signal nn Alarm signal set 1~6 OFF/ON)

アラームの信号出力端子台番号に入力チャンネル番号を設定します。

nnは、入力チャンネル番号で設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

NFFは、信号出力で端子台1～6を連続で設定します。

Nは【ON】，Fは【OFF】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-15. 「AOSnnffffnnffffnnffff...+CR,LF」

(Alarm Output Signal nn Alarm signal set 1~6 OFF/ON)

アラームの信号出力端子台番号に入力チャンネル番号を設定します。

入力チャンネル1～32 (64) 連続で設定します。

nffは、信号出力で端子台1～6を連続で設定します。

nは【ON】，fは【OFF】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-16. 「AROF+CR,LF」 (Alarm Return Off)

アラーム リターンの設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-1-17. 「ARON+CR,LF」 (Alarm Return On)

アラーム リターンの設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-2. タイトル関連

2-2-2-1. 「CTmm*****+CR,LF」 (Character Title input channel mm)

*****+CR,LF

入力チャンネルmmのタイトルを設定します。

タイトルの文字長さは14文字なので14文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

各文字はJIS-X0208の16進数をASCIIの4バイトで表します。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

2-2-2-2. 「CTABnn+CR,LF」 (Character Title Adjust Bottom nn)

キャラクタ・タイトルのボトム側表示位置の微調整設定をします。

mmは、値で調整範囲は【01】～【16】です。

2-2-2-3. 「CTATnn+CR,LF」 (Character Title Adjust Top nn)

キャラクタ・タイトルのトップ側表示位置の微調整設定をします。

mmは、値で調整範囲は【01】～【16】です。

2-2-2-4. 「CTImmOF+CR,LF」 (Character Title Input mm Off)

入力チャンネルmmのタイトル表示設定を【OFF】にします。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

2-2-2-5. 「CTImmON+CR,LF」 (Character Title Input mm On)

入力チャンネルmmのタイトル表示設定を【ON】にします。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

- 2-2-2-6. 「CTIAOF+CR,LF」 (Character Title Input All Off)
全入力チャンネルのタイトル表示設定を【OFF】にします。
- 2-2-2-7. 「CTIAON+CR,LF」 (Character Title Input All On)
全入力チャンネルのタイトル表示設定を【ON】にします。
- 2-2-2-8. 「CTIoo+CR,LF」
(Character Title Input ch. 01~32 (64) Off/On)
全入力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定します。
oは、表示設定でF/Nです。
Fは【OFF】，Nは【ON】です。
入力チャンネル1から32(64)まで連続で表示/非表示を設定します。
- 2-2-2-9. 「CTOnnOF+CR,LF」 (Character Title Input nn Off)
出力チャンネルnnのタイトル表示設定を【OFF】にします。
nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。
- 2-2-2-10. 「CTOnnON+CR,LF」 (Character Title Input nn On)
出力チャンネルnnのタイトル表示設定を【ON】にします。
nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。
- 2-2-2-11. 「CTOAOF+CR,LF」 (Character Title Input All Off)
全出力チャンネルのタイトル表示設定を【OFF】にします。
- 2-2-2-12. 「CTOAON+CR,LF」 (Character Title Input All On)
全出力チャンネルのタイトル表示設定を【ON】にします。
- 2-2-2-13. 「CTOoooooooooooo+CR,LF」 (Character Title Output ch. 01~16 Off/On)
全出力チャンネルのタイトル表示/非表示を設定します。
oは、表示設定でF/Nです。
Fは【OFF】，Nは【ON】です。
出力チャンネル1から16まで連続で表示/非表示を設定します。
- 2-2-2-14. 「CTPI mmB+CR,LF」 (Character Title Position Input channel mm Bottom)
入力チャンネルmmのタイトル表示位置を【BOTTOM】に設定します。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】(【64】)です。
- 2-2-2-15. 「CTPI mmT+CR,LF」 (Character Title Position Input channel mm Top)
入力チャンネルmmのタイトル表示位置を【TOP】に設定します。
mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】(【64】)です。
- 2-2-2-16. 「CTPIAB+CR,LF」 (Character Title Position Input All channel Bottom)
全入力チャンネルのタイトル表示位置を【BOTTOM】に設定します。
- 2-2-2-17. 「CTPIAT+CR,LF」 (Character Title Position Input All channel Top)
全入力チャンネルのタイトル表示位置を【TOP】に設定します。
- 2-2-2-18. 「CTPIpp+CR,LF」
(Character Title Position Input ch. 01~32 (64) Bottom/Top)
全入力チャンネルのタイトル表示位置を設定します。
pは、表示位置設定でB/Tです。
Bは【BOTTOM】，Tは【TOP】です。
入力チャンネル1から32(64)まで連続で表示位置を設定します。

2-2-3.日付,時刻

2-2-3-1.「DSDnn+CR,LF」 (Date Set Day)

日付の日の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【01】～【31】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-2.「DSMnn+CR,LF」 (Date Set Month)

日付の月の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【01】～【12】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-3.「DSYnn+CR,LF」 (Date Set Year)

日付の年の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【00】～【99】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-4.「TSA+CR,LF」 (Time Set Adjust)

時刻の秒の単位を00に設定します。

その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。

その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-5.「TSHnn+CR,LF」 (Time Set Hour)

時刻の時の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【23】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-6.「TSMnn+CR,LF」 (Time Set Minute)

時刻の分の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【59】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-7.「TSSnn+CR,LF」 (Time Set Second)

時刻の秒の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【59】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-4.日付,時刻の表示関連

2-2-4-1.「TSDSN+CR,LF」 (Time Signal Display Size Normal)

時刻表示のサイズ設定を【NORMAL】にします。

2-2-4-2.「TSDSS+CR,LF」 (Time Signal Display Size Small)

時刻表示のサイズ設定を【SMALL】にします。

2-2-4-3. 「TSDRn+CR,LF」 (Time Signal Display Range n)

時刻表示のレンジ設定をnにします。

- 1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。
- 2は【YMDHM】 年月日時分 です。
- 3は【YMD】 年月日 です。
- 4は【MDHMS】 月日時分秒 です。
- 5は【MDHM】 月日時分 です。
- 6は【MD】 月日 です。
- 7は【HMS】 時分秒 です。
- 8は【HM】 時分 です。

2-2-4-4. 「TSInnOF+CR,LF」 (Time Signal Input ch. nn Off)

入力チャンネルnnの日付け,時刻表示の設定を【OFF】にします。

nnは,入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】(【64】)です。

2-2-4-5. 「TSInnON+CR,LF」 (Time Signal Input ch. nn On)

入力チャンネルnnの日付け,時刻表示の設定を【ON】にします。

nnは,入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】(【64】)です。

2-2-4-6. 「TSIAOF+CR,LF」 (Time Signal Input All ch. Off)

全入力チャンネルの日付け,時刻表示の設定を【OFF】にします。

2-2-4-7. 「TSIAON+CR,LF」 (Time Signal Input All ch. On)

全入力チャンネルの日付け,時刻表示の設定を【ON】にします。

2-2-4-8. 「TSIOoo+CR,LF」

(Time Signal Input ch. 01～32 (64) Off/On)

全入力チャンネルの日付け,時刻表示/非表示を設定します。

oは,表示設定でF/Nです。

Fは【OFF】で,Nは【ON】です。

入力チャンネル1から32(64)まで連続で設定します。

2-2-4-9. 「TSOnnOF+CR,LF」 (Time Signal Output ch. nn Off)

出力チャンネルnnの日付け,時刻表示の設定を【OFF】にします。

nnは,出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

2-2-4-10. 「TSOnnON+CR,LF」 (Time Signal Output ch. nn On)

出力チャンネルnnの日付け,時刻表示の設定を【ON】にします。

nnは,出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

2-2-4-11. 「TSOAOF+CR,LF」 (Time Signal Output All ch. Off)

全出力チャンネルの日付け,時刻表示の設定を【OFF】にします。

2-2-4-12. 「TSOAON+CR,LF」 (Time Signal Output All ch. On)

全出力チャンネルの日付け,時刻表示の設定を【ON】にします。

2-2-4-13. 「TSOoooooooooooooooooooooooooooooooo+CR,LF」 (Time Signal Output ch. 1～16 Off/On)

全出力チャンネルの日付け,時刻表示/非表示を設定します。

oは,表示設定でF/Nです。

Fは【OFF】で,Nは【ON】です。

出力チャンネル1から16まで連続で表示/非表示を設定します。

2-2-5.出力設定関連

2-2-5-1. 「O n n I mm+CR,LF」 (Output ch. nn Input ch. mm)

出力チャンネルn nを入力チャンネルmmに設定します。

n nは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

2-2-5-2. 「O n n S mm+CR,LF」 (Output ch. nn Sequence pattern no. mm)

出力チャンネルn nをシーケンス・パターン番号mmに設定します。

n nは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-5-3. 「O A I mm+CR,LF」 (Output All ch.Input ch. mm)

全出力チャンネルを入力チャンネルmmに設定します。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

2-2-5-4. 「O A S mm+CR,LF」 (Output All ch.Sequence pattern no. mm)

全出力チャンネルをシーケンス・パターンmmに設定します。

mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-5-5. 「O P n n+CR,LF」 (Output Pattern no. nn)

全出力チャンネルをアウトプット・パターン番号n nに設定します。

n nは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-5-6. 「O P F R+CR,LF」 (Output Pattern Free)

アウトプット・パターンを【FREE】に設定します。

2-2-5-7. 「O P n n A l mm+CR,LF」 (Output Pattern no. nn All Input no. mm)

アウトプット・パターンのn nの全出力チャンネルを同一の入力チャンネルmmに設定します。

n nは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

2-2-5-8. 「O P n n A S mm+CR,LF」 (Output Pattern no. nn All Sequence pattern no. mm)

アウトプット・パターンのn nの全出力チャンネルを同一のシーケンス・パターン番号mmに設定します。

n nは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

mmは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

2-2-5-9. 「O P n n l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm+CR,LF」

(Output Pattern nn Input lmm)

アウトプット・パターンの全出力チャンネルを入力チャンネルl mmに連続で設定します。

n nは、アウトプット・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

l mmは、入力チャンネルで設定範囲は

【I 01】～【I 32】（【I 64】） 入力チャンネル01～32 (64)

【S 01】～【S 64】 シーケンス・パターン番号01～64 です。

2-2-5-10. 「O S l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm l mm+CR,LF」

(Output Set 1～16 Input lmm)

全出力チャンネルを入力チャンネルl mmに設定します。

l mmは、入力チャンネルで設定範囲は

【I 01】～【I 32】（【I 64】） 入力チャンネル01～32 (64)

【S 01】～【S 64】 シーケンス・パターン番号01～64 です。

2-2-6.パスワード関連

2-2-6-1. 「PMOF+CR.LF」 (Password Menu Off)

パスワード・メニューの設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-2. 「PMON+CR.LF」 (Password Menu On)

パスワード・メニューの設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-3. 「PNnnnnnn+CR.LF」 (Password Number nnnnnn)

パスワード・ナンバーの設定を【nnnnnnnn】にします。

範囲は【000000】～【999999】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-4. 「POOF+CR,LF」 (Password Operation Off)

パスワード・オペレーションの設定を【OFF】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-6-5. 「POON+CR.LF」 (Password Operation On)

パスワード・オペレーションの設定を【ON】にします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7.自動切換えパターン関連

2-2-7-1. 「S P n n A s s +CR,LF」 (Sequence Pattern no. nn, All ch. ss second)

シーケンス・パターン番号nnの全入力チャンネルのシーケンス時間を同じ値に設定します。

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

s s は、秒数で設定範囲は【01】～【60】です。

2-2-7-2. 「S P n n mm s s +CR,LF」 (Sequence Pattern no. nn,input ch. mm,ss second)

シーケンス・パターン番号nnの入力チャンネルmmのシーケンス時間を設定します。

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

mm)は、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

ss は、秒数で設定範囲は【00】～【60】です。

【00】秒設定の場合その入力チャンネルをスキップします。

2-2-7-3. 「S P n n s
s +CRLF」

(Sequence Pattern no. nn,input ch. 01~32 (64) ,ss second)

シーケンス・パターン番号nnの全入力チャンネルのシーケンス時間を設定します。

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

s sは、秒数で設定範囲は【00】～【60】です。

【00】秒設定の場合その入力チャンネルをスキップします。

入力チャンネル1から32 (64) まで時間を2桁ずつ連続で設定します。

2-2-8.初期化関連

2-2-8-1.「DSN+CR,LF」 (Default Set Normal)

タイトルを除く設定値を初期値に戻します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8-2.「DSS+CR,LF」 (Default Set Special)

全ての設定値を初期値に戻します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

3.Read command

3-1.異常時 Answer

「E0+CR,LF」	Framing error
「E1+CR,LF」	Parity error
「E2+CR,LF」	Overrun error
「E3+CR,LF」	Command Error

3-2.Command

3-2-1.アラーム関連

3-2-1-1.「RABO+CR,LF」 (Read Alarm Buzzer Out)

アラーム時のブザー出力の設定を返します。

「ABOOF+CR,LF」	【OFF】
「ABOON+CR,LF」	【ON】

3-2-1-2.「RAD+CR,LF」 (Read Alarm Display)

アラーム時の「ALARM」文字表示の設定を返します。

「ADOF+CR,LF」	【OFF】
「ADON+CR,LF」	【ON】

3-2-1-3.「RADT+CR,LF」 (Read Alarm Duration Time)

アラームの保持時間の設定を返します。

「ADT01+CR,LF」～「ADT99+CR,LF」 【01】～【99】

3-2-1-4.「RAELnnn+CR,LF」 (Read Alarm Event List no. nnn)

アラーム・イベントのリスト内容を返します。

「AELnnn yy. mm. dd hh:mi:ss+CR,LF」

nnnは、リスト番号で設定範囲は【001】～【960】です。

yyは年、mmは月、ddは日、hhは時、miは分、ssは秒を表します。

3-2-1-5.「RAELC+CR,LF」 (Read Alarm Event List Count)

アラーム・イベントのリスト件数を返します。

「AELCnnn+CR,LF」

nnnは、リストの件数で値は【001】～【960】です。

3-2-1-6. 「RAIN+CR,LF」 (Read Alarm Input Number)

アラームの端子台入力に割り付けたチャンネルの設定を返します。

「A I Nmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm+CR,LF」

mmは、チャンネル番号で値は【01】～【32】（【64】）です。

端子台の1~16に設定されたチャンネル番号を連続で返します。

3-2-1-7. 「RAINnn+CR,LF」 (Read Alarm Input Number nn)

アラームの端子台入力n nに割り付けたチャンネルの設定を返します。

「A I N n n I mm+CR,LF」

nnは、端子台番号で値は【01】～【24】です。

mmは、チャンネル番号で値は【01】～【32】（【64】）です。

3-2-1-8. 「RAIP+CR,LF」 (Read Alarm Input Polarity)

アラーム入力極性の設定を返します。

「A I P B+CR,LF」 【BREAK】

「A I PM+CR,LF」 【MAKE】

3-2-1-9. 「RAOM+CR.LF」 (Read Alarm Output Monitor)

アラームの映像出力設定を返します。

「AOMn f f f n f f f n f f f n f f f n f f f n f f f n f f f +CR,LF」

n f fは、アラーム入力チャンネルに対するアラーム映像出力1～4を表します。

fは【OFF】で、nは【ON】です。

全ての出力チャンネル 1~32 (64) の設定を連続で返します。

3-2-1-10. 「RAOM_n n+CR,LF」 (Read Alarm Output Monitor)

アラームの映像出力設定を返します。

「AOMmmn f f f+CR,LF」

mmは入力チャンネル番号で、設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

n f f fは、チャンネル番号mmに対するアラーム出力1~4を表します。

fは【OFF】で、nは【ON】です。

3-2-1-11. 「RAOS+CR,LF」 (Read Alarm Output Signal)

アラームの信号出力設定を返します。

```
「AOSn f f f f f n f f f f f n f f f f f n f f f f f n f f f f f+CR,LF」
```

n f f f f fは1入力チャンネルに対するアラーム信号出力1～6を表します。

fは【OFF】で、nは【ON】です。

全ての出力チャンネル1~32 (64) の設定を連続で返します。

3-2-1-12. 「RAOS n n+CR,LF」 (Read Alarm Output Signal)

アラームの出力設定を返します。

「AOSmmn f f f f f+CR,LF」

mmは入力チャンネル番号で、設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

n f f f f fは、チャンネル番号mmに対するアラーム出力1~6を表します。

fは【OFF】で、nは【ON】です。

3-2-1-13. 「RAR+CR,LF」 (Read Alarm Return)

アラーム・リターンの設定を返します。

「AROF+CR,LF」 【BREAK】

「ARON+CR,LF」 【MAKE】

3-2-2.タイトル関連

3-2-2-1.「RCTmm+CR,LF」 (Read Character Title input ch. mm)

入力チャンネルmmのタイトルを返します。

「CTmm*****+CR,LF」

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

各文字はJIS-X0208の16進数をASCIIの4バイトで表します。

3-2-2-2.「RCTAB+CR,LF」 (Read Character Title Adjust Bottom)

タイトル表示微調整のボトム側の設定を返します。

「CTABnn+CR,LF」

nnは、設定値で【01】～【16】です。

3-2-2-3.「RCTAT+CR,LF」 (Read Character Title Adjust Top Bottom)

タイトル表示微調整のトップ側の設定を返します。

「CTATnn+CR,LF」

nnは、設定値で【01】～【16】です。

3-2-2-4.「RCTI+CR,LF」 (Read Character Title Input ch. 01~32)

全入力チャンネルのタイトル表示/非表示設定を返します。

「CTIoooooooooooooooooooooooooooooooo+CR,LF」

oは、表示設定でF/Nです。

Fは【OFF】で、Nは【ON】です。

入力チャンネル1から32（64）まで連続で設定を返します。

3-2-2-5.「RCTImm+CR,LF」 (Read Character Title Input ch. mm)

入力チャンネルmmのタイトル表示設定を返します。

「CTImmOF+CR,LF」 【OFF】

「CTImmON+CR,LF」 【ON】

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

3-2-2-6.「RCTO+CR,LF」 (Read Character Title Output ch. 01~16)

全出力チャンネルのタイトル表示/非表示設定を返します。

「CTOoooooooooooooooooooooooo+CR,LF」

oは、表示設定でF/Nです。

Fは【OFF】で、Nは【ON】です。

出力チャンネル1から16まで連続で設定を返します。

3-2-2-7.「RCTOnn+CR,LF」 (Read Character Title Output ch. nn)

出力チャンネルnnのタイトル表示設定を返します。

「CTOnnOF+CR,LF」 【OFF】

「CTOnnON+CR,LF」 【ON】

nnは、出力チャンネルで設定範囲は【01】～【16】です。

3-2-2-8.「RCTPI+CR,LF」 (Read Character Title Position Input)

キャラクタ・タイトルの表示位置の設定を返します。

「CTPIpppppppppppppppppppppppppppppp+CR,LF」

pは、設定でB/Tです。

Bは【BOTTOM】で、Tは【TOP】です。

入力チャンネルで1~32（64）まで連続で設定を返します。

3-2-2-9. 「RCTPI mm+CR,LF」 (Read Character Title Position Input ch. mm)

チャンネルmmのキャラクタ・タイトルの表示位置の設定を返します。

「CTPI mmB+CR,LF」 **【BOTTOM】**

「CTPI mmT+CR,LF」 **【TOP】**

mmは、入力チャンネルで設定範囲は**【01】～【32】（【64】）**です。

3-2-3. 日付,時刻

3-2-3-1. 「RTD+CR,LF」 (Read Time & Date)

マトリックス・スイッチャ (MSW-3216A) の日付&時刻を返します。

「yy. mm. dd hh:MM:ss+CR,LF」

yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒

3-2-4. 日付,時刻の表示

3-2-4-1. 「RTSDS+CR,LF」 (Read Time Signal Display Size)

時刻表示のサイズ設定を返します。

「TSDSN+CR,LF」 **【NORMAL】**

「TSDSS+CR,LF」 **【SMALL】**

3-2-4-2. 「RTSDR+CR,LF」 (Read Time Signal Display Range)

時刻表示のレンジ設定を返します。

「TSDRm+CR,LF」

mは、設定値で

1は**【YMDHMS】**で 年月日時分秒 です。

2は**【YMDHM】**で 年月日時分 です。

3は**【YMD】**で 年月日 です。

4は**【MDHMS】**で 月日時分秒 です。

5は**【MDHM】**で 月日時分 です。

6は**【MD】**で 月日 です。

7は**【HMS】**で 時分秒 です。

8は**【HM】**で 時分 です。

3-2-4-3. 「RTSI+CR,LF」 (Read Time Signal Input ch.)

全入力チャンネルの日付け,時刻の表示/非表示設定を返します。

「TSIoo+CR,LF」

oは、表示設定でF/Nです。

Fは**【OFF】**で、Nは**【ON】**です。

入力チャンネル1から32 (64) まで連続で設定を返します。

3-2-4-4. 「RTSInn+CR,LF」 (Read Time Signal Input ch. nn)

入力チャンネルnnの日付け,時刻表示の設定を返します。

「TSInnOF+CR,LF」 **【OFF】**

「TSInnON+CR,LF」 **【ON】**

nnは、入力チャンネルで設定範囲は**【01】～【32】（【64】）**です。

3-2-4-5. 「RTSO+CR,LF」 (Read Time Signal Output ch.)

全出力チャンネルの日付け,時刻の表示/非表示設定を返します。

「TSOoooooooooooooooooooooooo+CR,LF」

oは、表示設定で**【F/N】**です。

Fは**【OFF】**で、Nは**【ON】**です。

出力チャンネル1から16まで連続で設定を返します。

出力チャンネルn nの日付け,時刻表示の設定を返します。

「TSOn n OF+CR,LF」 **【OFF】**

「TSOn n ON+CR,LF」 **【ON】**

n nは,出力チャンネルで設定範囲は **【0 1】** ～ **【1 6】** です。

Smmは、シーケンス・パターン番号で【01】～【64】です。

出力チャンネル 1 から 16 まで連続で設定を返します。

FRは、【FREE】です

出力チャンネル 1 から 16 まで連続で設定を返します。

出力チャンネル 1 から 16 まで連続で設定を返します。

3-2-6.パスワード関連

3-2-6-1. 「RPM+CR.LF」 (Read Password Menu)

パスワード・メニューの設定を返します。

「PMOF+CR,LF」 【OFF】

「PMON+CR.LF」 【ON】

3-2-6-2. 「RPN+CR,LF」 (Read Password Number)

パスワード・ナンバーの設定を返します。

「PNnnnnnn+CR,LF」 【000000】～【999999】

3-2-6-3. 「R P O+CR,LF」 (Read Password Operation)

パスワード・オペレーションの設定を返します。

「POOF+CR,LF」 【OFF】

「POON+CR,LF」 【ON】

3-2-7.自動切換えパターン関連

3-2-7-1. 「R S P_{nn}+CR,LF」 (Read Sequence Pattern no. nn)

シーケンス・パターン番号nnの全入力チャンネルのシーケンス時間を返します。単位は秒です。

[illegible]

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

s sは、秒数で【00】～【60】です。

入力チャンネル1から32 (64) まで時間を2桁ずつ連続で返します。

3-2-7-2. 「R S P n n mm+CR,LF」 (Read Sequence Pattern no. nn,input ch. mm)

シーケンス・パターン番号 nn の入力チャンネル mm のシーケンス時間を返します。単位は秒です。

$$[\text{SPnnmm}00+\text{CR,LF}] \sim [\text{SPnnmm}60+\text{CR,LF}] \quad [00] \sim [60]$$

nnは、シーケンス・パターン番号で設定範囲は【01】～【64】です。

mmは、入力チャンネルで設定範囲は【01】～【32】（【64】）です。

3-2-8.バージョン情報

3-2-8-1. 「RVN+CR,LF」 (Read Version Number)

MSW-3216A (6416A) のバージョン番号を返します。

「MSW-3216A V *, **+CR.LF」

*は、数値で【0】～【9】です。

4. ご注意

Command の発行を連続で行う場合 200mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

タイトル・キャラクタ設定 (C T Command) の発行を連続で行う場合 500mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

JIS X0208 第 1 水準は 3,562 文字で

0x222f~0x2239,0x2242~0x2249,0x2251~0x225b,0x226b~0x2271,0x227a~0x227d,
0x2321~0x232f,0x233a~0x2340,0x235b~0x2360,0x237b~0x237e,0x2474~0x247e,
0x2577~0x257e,0x2639~0x2640,0x2659~0x267e,0x2742~0x2750,0x2772~0x277e,
0x2841~0x2f7e,0x4f54~0x4f7e

のコードは除きます。

JIS X0208 第 2 水準は 3,390 文字で 0x7427~0x7e7e のコードは除きます。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。

Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

5. 変更履歴

2011.05.20 「5.変更履歴」追加。

2017.11.13 ASCII Code 表 ‘—’ 02BH を 02DH に修正

ASCII Code 表 (16進)

SPACE	020H	a	061H	タ	0C0H
		b	062H	チ	0C1H
:	03AH	c	063H	ツ	0C2H
<	03CH	d	064H	テ	0C3H
>	03EH	e	065H	ト	0C4H
—	02DH	f	066H		
.	02EH	g	067H	ナ	0C5H
/	02FH	h	068H	ニ	0C6H
		i	069H	ヌ	0C7H
0	030H	j	06AH	ネ	0C8H
1	031H	k	06BH	ノ	0C9H
2	032H	l	06CH		
3	033H	m	06DH	ハ	0CAH
4	034H	n	06EH	ヒ	0CBH
5	035H	o	06FH	フ	0CCH
6	036H	p	070H	ヘ	0CDH
7	037H	q	071H	ホ	0CEH
8	038H	r	072H		
9	039H	s	073H	マ	0CFH
		t	074H	ミ	0D0H
A	041H	u	075H	ム	0D1H
B	042H	v	076H	メ	0D2H
C	043H	w	077H	モ	0D3H
D	044H	x	078H		
E	045H	y	079H	ヤ	0D4H
F	046H	z	07AH	イ	0A8H
G	047H			ユ	0D5H
H	048H	ア	0B1H	エ	0AAH
I	049H	イ	0B2H	ヨ	0D6H
J	04AH	ウ	0B3H		
K	04BH	エ	0B4H	ラ	0D7H
L	04CH	オ	0B5H	リ	0D8H
M	04DH			ル	0D9H
N	04EH	カ	0B6H	レ	0DAH
O	04FH	キ	0B7H	ロ	0DBH
P	050H	ク	0B8H		
Q	051H	ケ	0B9H	ワ	0DCH
R	052H	コ	0BAH	ン	0DDH
S	053H			ツ	0AFH
T	054H	サ	0BBH	ヤ	0ACH
U	055H	シ	0BCH	ユ	0ADH
V	056H	ス	0BDH	ヨ	0AEH
W	057H	セ	0BEH	ア	0A7H
X	058H	ソ	0BFH	オ	0ABH
Y	059H			ゝ	0DEH
Z	05AH			。	0DFH